



専門学校 社会医学技術学院

〔所在地〕 東京都小金井市中町 2-22-32
 〔電話〕 0423-84-1030
 〔交通〕 国電 中央線 東小金井駅南口より立川方面へ徒歩 5 分
 〔学科〕 理学療法学科, 作業療法学科
 〔学生数〕 160 名
 〔募集人員〕 各学科とも 30 名
 〔倍率〕 55年度 理学療法学科 7 倍
 作業療法学科 2 倍
 〔修業年限〕 夜間 4 カ年 (ただし基礎医学実習, 臨床実習は昼間)

設立の目的

昭和 41 年より PT・OT の国家試験が行われてきたが, 47 年を最後として経過措置による受験の道がなくなり, 学卒者のみにその機会が与えられるようになった。そこで PT の現場に働いている人達の中に, 資格を得て更に前進することを希望している数多くの有能の士がおり, それらの人も含めて働きながら学べる道を拓く方法として夜間の養成校を設立することになった。

沿革

このようにして本学院が発足したのが昭和 48 年春で, 当初の所在地は新宿区大久保にある八田一朗氏主宰のスポーツ会館であった。これは PT と体育をマッチングさせるのに有益と考えての事でもあったが, スポーツ会館側の事情により, 50 年春に渋谷区幡ヶ谷に学院を移転し, まことに手狭な校舎で 5 年間を過した。この間, 1 日も早く本校舎を造るべく, 52 年に財団法人 日本リハビリテーション振興会を設立し, それが母体となって寄付集めをし, 漸く 55 年春に小金井の地に本校舎が完成し, 同時に作業療法学科も増設する事になった。新校舎は総面積約 3000m² で, 周りは緑が多く, 診療部門, 地域に開いた視聴覚部門も併設されている。

教育目標と内容

理学療法学科: 本学院が根ざしているものは, 理学療法とは労多くして功少ない仕事ではあるが, やり甲斐の

ある事である。そのためには常に患者, 障害者の側に立って誠意を尽す事である。このためには昼間働きながら, 勉学する事によって, 下積みの苦勞を味わい, 目標を見失わない精神力を培い, それが PT になってから単に理論, 技術の追究のみに終始せず, 幅の広い, 奥の深いセラピストになる事である。幸い 130 名余りの卒業生の大部分がそうした願いを心として, 前進しつつある事はたのしい限りである。夜間という事で外来講師も得易く, 熱心な講義と, 学院行事への積極的な参加, 職員, 学生を一体とした親近感に誠になごやかなムードである。昼間働いているという点で臨床実習の段階的学習にやや難があり, これについては鋭意改善の方向に努力している。

作業療法学科: 桜の名所小金井に新校舎落成と同時に, 作業療法学科が開設された。特別措置終了によって閉ざされていた働きながら学ぶ人々への道が開けたわけである。10 歳以上も開きのある人々が一緒に学び, しかも夜 3 時間顔を合わせるだけではクラスのみとまりがないのではと誰しも考えるが, 既設の理学療法学科の学生をみていると決してそのようなことはなく, むしろ結びつきが固いように思える。そして卒業生の愛校精神もどこよりも強いのではないかと新任の私には感じられた。夜学という世間一般のイメージとは異り, 母校を愛し, 胸をはって勉学にいきしんでいる理学療法学科の学生に負けずに, この学校の良き伝統を守りながら新しい息吹きを吹きこんでゆきたい。作業療法を仕事としてやっている人, 高校を出たばかりの人, 他の仕事から転職したいと思っている人と様々だが, 健康には特に留意して共に学んでゆくべく共にがんばりたい。

(理学療法学科長 渡辺 昭二)

(作業療法学科長 小川 恵子)